



この人

楽しく目新しい活動を

「皆さん、市老連と県老連の掛け持ちで大変でしょう？って心配してくださるけど、私、ちっとも大変じゃないの。とっても楽しいのよ」と話す片岡光子さん。

昨年五月に、平塚市老人クラブ連合会の副会長からいきなり神奈川県老人クラブ連合会の女性会議員代表に抜擢された。

片岡さんは日本舞踊の活動に参加したくて、五十五歳で老人クラブに入会し、六十歳になるとすぐに地区の役員に。六十六歳からは市老連の女性部長を務めてきた。そして昨年、七十三歳で副会長に

「皆さん、市老連と県老連の女性会議員代表に就任した。」

「代表になってすぐに全国老人クラブ連合会の集まりがあり、全国から集まった素晴らしい方々といろんな話ができる。感激しました。でもまだまだ女性の意見を聞いてもらえない体質が残っていると聞きました。平塚市老連では女性部が大切にされて、思い切りいろんなことをさせてもらっていたから、私は本当に恵まれているなと実感しました」

実際、片岡さんはリボンフラワーやパンフラワー、ビーズ、粘土人形、押し花等々の講師として、市老連の女性部

で様々な研修を成功させてきた。

「私、講習の時にオリジナルをプラスアルファするの。ちょっと目先の変わったことをやれば、皆さん乗ってくださる。生きがいというのかな、体が元気だったら何かやりたいという気持ちを持ってもらえる方はたくさんいます。友達が欲しくて外へ出たい人も多いと思う」

その経験が県老連でも発揮されている。

昨年九月末に県老連女性会議員七、八人に声をかけてビーズやリズム体操等の講習を行い交流を深めた。これが

とても好評で、次回はもっと多くの人達に…と盛り上がった。

「県老連の女性会議に出てもらえる方々は皆さん優秀です。たくさんさんの経験を重ねている素晴らしいブレインに助けてもらいながら、会員確保のためにも楽しさをアピールできる目新しいものをやってみてほしい。例えば、お決まりの講演会じゃなくて朗読会なんかもいいんじゃないかしら。毎日が勉強だと思っ、一つ一つの活動を悔いを残さずやってみてほしいです」

老人クラブに新風が吹き込まれている。(小松 薫)

神奈川県老人クラブ連合会女性会議員代表

片岡 光子さん

ゆめジャーナル 神奈川

ゆめクラブ神奈川

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会
 発行人/井上 勇 編集/小宮 恒次
 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
 電話/045(311)8737 FAX/045(312)4288
 印刷/株ジェイ・スタッフ

通巻 184号

平成25年1月15日 (年2回刊)

発行部数・100,000部

Eメール kanagawa@yumekurabu.or.jp
ホームページ http://www.yumekurabu.or.jp

仲間と共に 地域と共に 輝いて50年。

全老連創立50周年記念 「全国老人クラブ大会」開催

10月4日東京・日比谷公会堂に天皇皇后両陛下をお迎えし、全国から2,000名のリーダーが参加して盛会裏に開催され、神奈川県老連からは5団体4名の方々が表彰受章されました。(受章者名は2面に掲載しております)

また、本大会において東日本大震災の被災地支援として、岩手県、宮城県、仙台市、福島県老連の会長に対して「震災復興応援旗」が送られました。



①式典全景(来賓席側)



②復興応援旗授与(福島)



③神奈川県老連 参加者41名

写真提供/全国老人クラブ連合会

こだま

ゆめジャーナル編集長

小宮 恒次



私たちが高齢者は加齢と共に、思考力の低下に伴い、本や新聞を読む

ものが嫌に、ましてや字を書く、手紙を書くのは年賀状の時期だけ。時代の変化に伴い、情報は本や新聞でなくてもテレビから吸収でき、手紙等はパソコンのメールや電話にて、世の中便利になり過ぎ、ロボットと生活する様な時代が来るのでは。私たちは、長寿社会を、楽しく安心して、生き生きと暮らせるように、常に思考力を磨き、脳の活性化に役立つ情報の提供を交換、学習活動や趣味を「ゆめジャーナル神奈川」の紙面を通じて、幅広く会員相互の交流と内容の充実を図り、前向きに取り組んで機関紙として少しでも親しまれるよう努力いたします。

この度、編集委員長をお受けしました。皆様方のご協力をお願いいたします。

日本初!! 長寿を祝う 共済です。

ゆめクラブ神奈川は「祝寿共済白寿」を推薦いたします。

シニア世代を応援する共済共済(ケガの保障)

祝寿共済 白寿

財団法人 神奈川県 福祉振興財団

〒231-8525 横浜市中区元浜町4-32 県民共済馬車道ビル

☎045-671-7101

福祉振興財団は、神奈川県内の中小企業およびその地域社会の人々の福祉の向上と安定した生活の実現を目指す公益法人です。

年頭にあたり

ゆめクラブ神奈川理事長 **井上 勇**



11万神老連会員の皆様、明けましておめでとうございます。年頭にあたり「主張の継続」を提言したいと思います。

○老人は多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるところに、生きがいをもてる健全で安らかな生活を保障されるものとする。

○国及び地方公共団体は、老人の福祉を増進する責務を有する。また、老人の福祉に係るある施策を講ずるにあたっては、その施策を通じて基本的理念が具現されるように配慮しなければならない。

○国及び地方公共団体は、老人の福祉を増進する責務を有するにあたり、改めて老人福祉法を読み直してみました。法は存続する限り、活かされ保障されなければなりません。従って私は年頭にあたり、このことを原点にして「主張の継続」を提言したいと思います。

ゆめクラブ神奈川の動き

平成二十四年度の県老連の事業については、四面の写真で紹介していますが、ここでは二事業について報告させていただきます。

役員・活動推進員合同研修会の開催

最初に小島高齢福祉課長より「神奈川県の高齢者施策」として、今後神奈川県の高齢化が急速に進む中で県では「高齢者が安心して、元気に、いきいきと暮らせる社会づくり」を基本目標に「認知症対策、孤立しない地域づくり、高齢者が安心して暮らせるまちづくり、高齢者自身が社会の担い手となる仕組みづくり」に重点的に取り組む等の話がありました。

力あるクラブのあり方」について講演をお願いしましたが、難しい課題であり、これはという解決ポイントはなかなかないようです。最後に横浜市老連原宿芙蓉会の谷中正敏氏より、一人暮らしの高齢者等に対し、簡単な大工仕事、電気器具の点検・修理、買物の手伝いなどの活動を行っている「お助けマンの会」の活動紹介をしていただきました。

解散の原因として、①会長のなり手がいない ②会員の高齢化 ③会員の減少が大きいため。また、解散のサインとして、①クラブの規模が小さい ②会長の在任期間が長い ③会長が高齢 ④活動が会員のニーズと遊離している ⑤地域の活動が少ないなどがあげられるなどの報告がありました。続いて行われた分科会では、平塚市老連小宮会長が「要介護にならない健康づくり」として活動報告を行いました。

二日目は会長表彰が行われ、県老連からは七名が受賞しました。も交流しながら、積極的に社会参加を進めていることは非常に心強いことです。また、「今日の高齢者は——私もその一人であります——多くの人命が失われた悲惨な戦争によって荒廃した国土から立ち上がっていく我が国と、歩みを共にしてこられました。私どもは若いときに平和の大切さを身にしみて育った世代です。皆さんが老人クラブなどの活動を通して、幼いときに、あるいは青年として経験したことを直に子どもたちや若い世代の人々に伝えて行くことは、我が国のために極めて大切なことと思われまます。」とのお言葉がありました。

一昨日の全老連からの基調報告では、クラブの解散防止として、会員減の七割はクラブの解散による。

関東甲信越ブロック老人クラブリーダー研修会へ参加

関東甲信越ブロックの全都十県四市から二〇四名が参加して開催されました。

全国老人クラブ大会

今年の大会は、全老連創立五十年記念として、天皇后両陛下をお迎えして開催されました。

天皇陛下からは「多くの高齢者が、老人クラブの様々な活動を通じて、子どもたちや、若い世代と

全国老人クラブ大会表彰受賞 おめでとうございます

厚生労働大臣表彰受章者

〈育成功労者表彰〉
座間市/井上 達夫 様
相模原市/石川 禮治 様
相模原市/三井 要一 様

〈優良単位クラブ表彰〉
南足柄市/関本寿会 様
相模原市/久保千歳会 様

〈優良老人クラブ連合会表彰〉
葉山町老人クラブ連合会 様

全老連会長表彰受賞者

〈育成功労者表彰〉
横須賀市/佐々木サキ 様

〈優良単位クラブ表彰〉
平塚市/東部松風町たかさご会 様

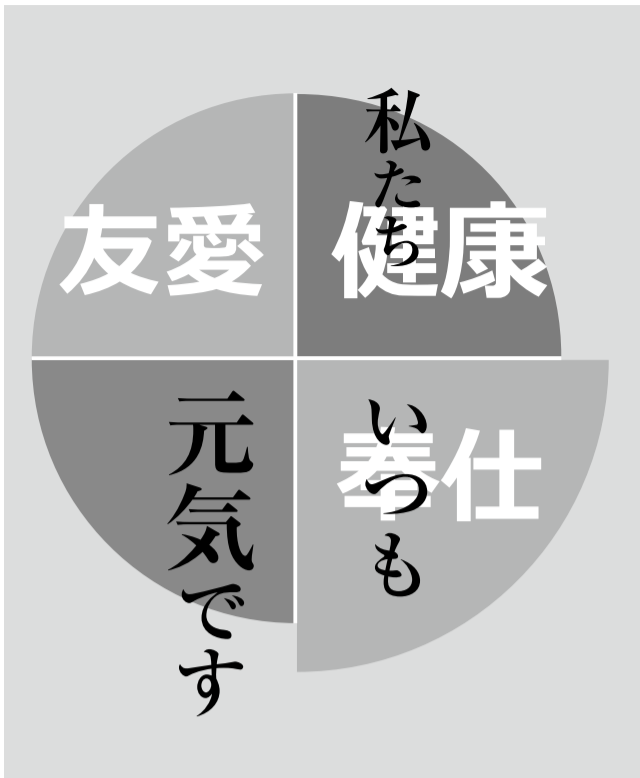
〈優良郡市区町村老連表彰〉
箱根町老人クラブ連合会 様

ぽかぽかハウス内は25℃
日本一早い桃のお花見
フルーツバイキング6種食べ放題

旅行代金@ **5000円** (昼食付)

出発日：3月初旬
詳細お問合せは下記営業所まで

あさひ国際旅行平塚 (営) 電話0463-35-2100
あさひ国際旅行横浜 (営) 電話045-730-3381



写真上・上和田団地長寿会／平成二十四年九月
美化運動
写真下・上和田団地／集会所前にて

のぼり旗を立てて活動してください

平塚市老連会長 小宮 恒次
 神奈川県老連と共同募金の助成によって黄色地に大きく赤字で活動中の、のぼり旗が昨年度は千三百本作成され、二十八老連千八百五二単位クラブに配布されました。(相模原・横須賀・藤沢老連は二十五年度に配布)

のぼり旗は、各単位クラブ



一本ですがグラウンドゴルフや草刈等の時に立てて利用してください。ゆめクラブ湘南平塚の、単位クラブなどでこの睦会では、「奉仕の日」に草刈ボランティアの方々と、国道百三十四号花水海岸線から六十二号古花水橋まで約四百メートルの土手を草刈「クラブ活動中」の、のぼり旗を立てて十五人の参加者と共に実施。四月からは花水連合会十クラブ協同にて活動、数多くののぼり旗が立ち並び、大変目立つことでしょう。

社会奉仕活動紹介

大和市老連上和田団地長寿会
 会長 小川 元雄

上和田団地は、大和市南部に位置し、小田急江ノ島線「高座渋谷」駅から徒歩二十分境川沿いに建つ賃貸住宅です。上和田団地長寿会は昭和四十五年に発足され、現在八十四名の会員です。昨年の「社会奉仕活動」は支給された活動中ののぼり旗を中央グラウンドに掲げて、三十三名の会員さんが集合され、四班にわけて団地内の清掃を実施し、集めたゴミ等は集会所前で広げて分別をしました。平成十年六月友愛チーム「フレンドリー」が発足されました。高齢化社会の中で孤独で一人暮らしの生活を強いられた仲間が増えてきています。毎日の安否確認、話し相手、簡単な家事の手伝い、外出の付き添い等、介護と見守りの福祉活動が大事な活動になりました。



各単位クラブは地元の神社・公民館・公共施設に通じる道路の清掃作業を行った。

奉仕という言葉は社会のため、人のために昔は一丸となつて国民がお国のためと叫ばれて来たものだが、最近では奉仕価格とか、奉仕品等といった、商売に使われ、本来の本質を離れボランティアという横文字文化に奉仕は心の隅に追いやられていたが、近頃は人々の胸中に奉仕精神が共感を呼び、東富水地区の8単位クラブが全体行動を起こし、

高齢者福祉活動の向上に尽くしたことで、松沢成文前神奈川県知事より表彰状をいただきました。今後一層の努力を重ねていきます。

社会奉仕活動について

小田原市老連 副会長・教養部長 穂谷野 克巳

高齡者福祉活動の向上に尽くしたことで、松沢成文前神奈川県知事より表彰状をいただきました。今後一層の努力を重ねていきます。



小田原市老人クラブ連合会の提唱の「老人クラブ社会奉仕の日」を統一活動として、各単位クラブに実施を呼びかけた。

各単位クラブは地元の神社・公民館・公共施設に通じる道路の清掃作業を行った。

奉仕という言葉は社会のため、人のために昔は一丸となつて国民がお国のためと叫ばれて来たものだが、最近では奉仕価格とか、奉仕品等といった、商売に使われ、本来の本質を離れボランティアという横文字文化に奉仕は心の隅に追いやられていたが、近頃は人々の胸中に奉仕精神が共感を呼び、東富水地区の8単位クラブが全体行動を起こし、



幼稚園児、小学生のPTA役員までに浸透し、駅前、小田原アリーナに通じる道路の清掃に三世代交流の一環で継続を願って邁進している姿は価値ある行動といえる。

クリーンキャンペーンに参加して

大井町老連会長 藤原 信男

社会奉仕活動については、年間を通じて色々行っていますが、今回は毎年秋に町主催による全町挙げてのクリーンキャンペーンを取り上げました。

今年も十月二十一日(日)九時から十一時まで実施されました。実施方法につきましては、①役場周辺のゴミ拾い ②役場に向かってゴミ拾い ③団体周辺のゴミ拾い、の中から参加団体を選びます。私達上大井老人クラブ若葉会は、②役場に向かって「ゴミ拾い」に参加致しました。

出発地点は、御殿場線上大井駅前から県老連支給ののぼり旗を先頭にゴミを分別収集

ゆめクラブ活性化推進事業募金

平成24年度は6ブロック開催の『ニュースポーツ交流の集い開催事業』の助成金や「のぼり旗」作成事業費の一部負担金として活用させていただきました。

会員の皆様の身近な市町村老連支援活動のために募金のご協力をよろしくお願いたします。募金は単位クラブでとりまとめでいただくことになっております。(募金は強制ではありません。)

ご協力ありがとうございました。

新 ジャーナル編集委員のご紹介

委員長
 小宮 恒次(湘南ブロック/平塚市)

副委員長
 熊谷 末男(横三ブロック/三浦市)

委員
 森田 城久(県央ブロック/大和市)
 平野 義朋(西湘ブロック/小田原市)
 藤原 信男(足柄上ブロック/大井町)
 羽深シツカ(相模原ブロック/相模原市)
 高橋美登利(女性会議副代表/相模原市)
 古張 忍(外部委員/神奈川県社協)

しながら役場まで回収を行いました。

到着した役場では、多くの団体が集まり、お互いに「ご苦労様」とねぎらいの言葉を掛け合い、主催者が用意した豚汁を食べて帰路につきました。この活動は、町民同士の「絆」を深めると共に、ゴミが年々減少し努力が報われていると痛感しました。



ゆめクラブ 神奈川の動き



②役員・地域活動推進員研修会

平成24年7月20日(於: 県民センター)

県老連の理事・評議員・監事および地域活動推進員の合同研修会を開催。神奈川県高齢福祉課長・小島誉寿氏による基調報告、小島セツ子氏による講演、谷中正敏氏による事例発表をして頂きました。参加者86名



③女性会議ブロック代表研修会

平成24年9月30日

(於: 上土棚自治会館)

女性ブロック代表による会議・意見交換を行った際、地域での研修会を行うことが決定し、女性代表によるビーズ作成、リズム体操の講習を受けました。



①関東甲信越静岡ブロック老人クラブ リーダー研修会

平成24年6月19日、20日

(於: 茨城県大洗ホテル)

本県老連より9名参加、関東ブロック老人クラブ会長表彰者2名が出席。



④赤い羽根共同募金 街頭募金活動

平成24年10月1日

女性会議メンバーによる共同募金活動。

⑤⑥健康づくり実践教室を開催

平成24年11月15日(於: 開成町社会福祉会館)

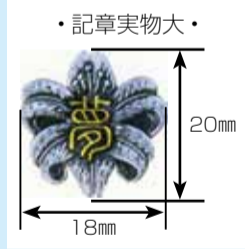
平成24年11月30日(於: 小田原市社会福祉センター)

足柄上ブロックと西湘ブロックの体育担当者を中心に、心身の健康を図るため、丸野廣氏と西谷芳子氏を招いて、心に関する講演と身体の実技としてリズム体操とストレッチを行った。足柄上ブロック参加者78名/西湘ブロック参加者42名



友愛の心と心 仲間のしるし

「ゆめクラブ記章」をあなたの胸に!



記章実物大
県花「ゆり」は純銀台「夢」の文字は純金張り
※この記章はゆめクラブ活動支援(1口1500円)に対するしるしです。

お申し込み

直接県老連まで(必ず葉書又はファクスをお願いします)
ファクス 045 (312) 4288

⑦老人クラブ女性リーダーセミナー

平成24年11月8日~9日(於: 新霞ヶ関ビル)

全老連主催の老人クラブ女性リーダーセミナーが開催。全国から120名の参加。県老連からは、4名の参加。セミナー終了後の全老連女性委員会には、女性会議代表が出席されました。

⑧功労者のつどい

平成24年11月21日(於: キャメロットジャパン)

神奈川県高齢者福祉関係功労者知事表彰は、友愛チーム等8人(団体・個人)、県老連理事長表彰は単位クラブ会長等116人(団体・個人)を表彰。



平成25年	平成24年度
1月	6月
11日 平成25年度賀詞交歓会	19日~20日 関東甲信越静岡ブロック老人クラブリーダー研修会(写真①)
15日 ゆめジャーナル発行	4日 正副理事長会議
17日~18日 全老連友愛活動セミナー	5日~6日 関東甲信越静岡ブロック活動推進員・事務局職員研修会
23日~25日 全老連健康づくりセミナー	15日 県老連役員・活動推進員合同研修会(写真②)
2月	8月
6日 正副理事長会議	31日 関東甲信越静岡ブロック女性リーダー研修会
14日 全老連事務局長会議	9月
17日 県老連役員宿泊研修会	5日 正副理事長会議
3月	7日 女性ブロック代表会議
5日 全老連評議員会	7日 全国一斉社会奉仕の日
8日 理事会・正副理事長会議	20日 女性ブロック代表研修会(写真③)
18日 評議員会	10月
22日 市町村老連事務担当者会議	1日 赤い羽根共同募金街頭募金活動(写真④)
	4日 全老連創立50周年記念全国老人クラブ大会(一面右)
	5日 理事会・正副理事長会議
	15日 健康づくり実践教室(足柄上ブロック)(写真⑤)
	17日 ゆめジャーナル編集委員会
	25日~26日 関東甲信越静岡ブロック連絡協議会
	30日 健康づくり実践教室(西湘ブロック)(写真⑥)
	11月
	5日 正副理事長会議
	8日~9日 全老連女性リーダーセミナー(写真⑦)
	15日 全老連女性委員会総会
	16日 関東甲信越静岡ブロック事務局長会議
	21日 功労者のつどい(写真⑧)
	12月
	6日~7日 全老連会長会議
	17日 県老連役員研修会・正副理事長会議
	19日 21世紀活動基金募金管理運営委員会